



ヘッドセット自動応答

- [ヘッドセット自動応答について \(1 ページ\)](#)
- [ヘッドセット自動応答の構成 \(3 ページ\)](#)
- [ヘッドセット自動応答の構成例 \(4 ページ\)](#)
- [ヘッドセット自動応答の機能情報 \(5 ページ\)](#)

ヘッドセット自動応答について

ヘッドセットを使用した自動応答通話

Cisco Unified CME 4.0 以降のバージョンでは、ヘッドセット キーがアクティブになっているときに着信コールに自動的に接続するよう、特定の電話機の回線を設定できます。この電話機がアクティブ コールによってビジーになることはありません。ヘッドセット キーは、自動的にコールに応答することが保証されます。着信コールは、ヘッドセット ライトが点灯している限り、電話機で1つずつ自動的に応答されます。ephone ごとに、ヘッドセット自動応答用に1つ以上の回線を指定できます。

電話機がヘッドセット自動応答用に構成された後、電話機の利用者はヘッドセットキーを押して自動応答を開始する必要があります。ヘッドセットライトの点灯は、構成で指定された回線に対して自動応答がアクティブであることを示します。電話機が通話に自動応答すると、zip トーンが再生され、電話機ユーザーに通話がある旨が通知されます。自動応答を停止するには、電話機ユーザーはヘッドセットキーを再度押して、ヘッドセットライトを消灯します。このとき、電話機ユーザーはヘッドセットを使用して通常の方法でコールに応答できます。

回線とボタンの違い

回線は電話機のボタンと似ていますが、まったく同じではありません。回線とは、通話接続を行う電話機の機能を表しているため、通話接続を行うことができる各ボタンは回線になります。(たとえば、未設定ボタンまたはスピードダイヤルボタンは回線ではありません。) また、回線は ephone-dn と同じではないことに注意してください。オーバーレイされた ephone-dn を持つボタンは、それに関連付けられた複数の ephone-dn (内線番号) があるかどうかに関係

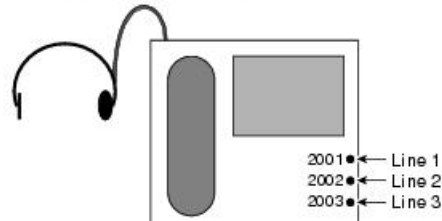
なく、1つの回線にすぎません。ほとんどの場合、ephone の回線番号はそのボタン番号と一致しますが、一致しないこともあります。

図 1: 回線がボタンと同じになる場合 (2 ページ) に、さまざまなタイプの ephone 設定における回線番号とボタン番号の比較を示します。

図 1: 回線がボタンと同じになる場合

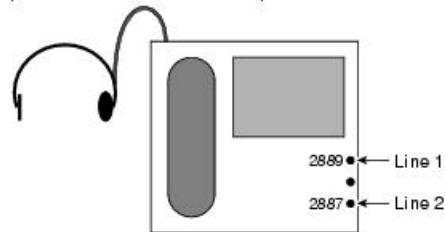
Most of the time, a line number is the same as the button number on which it appears.

In this example, line 1 is button 1, line 2 is button 2, and line 3 is button 3.



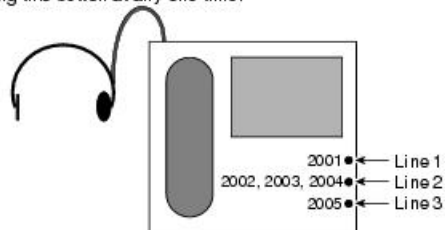
```
ephone-dn 21
number 2001
ephone-dn 22
number 2002
ephone-dn 23
number 2003
ephone 2
button 1:21 2:22 3:23
headset auto-answer line 1
headset auto-answer line 2
```

But not always. In the following case, line 2 is button 3, because button 3 is the second button that has an ephone-dn to be connected to a phone call. Button 2 is unoccupied and cannot take calls.



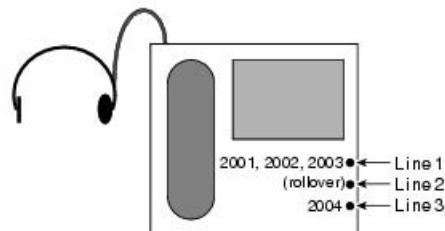
```
ephone-dn 33
number 2889
ephone-dn 34
number 2887
ephone 2
button 1:33 3:34
headset auto-answer line 1
headset auto-answer line 2
```

In the following example, button 2 has three overlay ephone-dns (22, 23, and 24). Button 2 is defined as one line because only one of those ephone-dns can be connected to a call using this button at any one time.



```
ephone-dn 21
number 2001
ephone-dn 22
number 2002
ephone-dn 23
number 2003
ephone-dn 24
number 2004
ephone-dn 25
number 2005
ephone 2
button 1:21 2o22,23,24 3:25
headset auto-answer line 2
headset auto-answer line 3
```

An expansion, or rollover, line for overlaid ephone-dns also counts as one line. Button 2 in this example is also line 2.



```
ephone-dn 21
number 2001
ephone-dn 22
number 2002
ephone-dn 23
number 2003
ephone-dn 24
number 2004
ephone 2
button 1o21,22,23 2x1 3:24
headset auto-answer line 1
headset auto-answer line 2
```

ヘッドセット自動応答の構成

ヘッドセット自動応答の有効化

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone *phone-tag***
4. **headset auto-answer line *line-number***
5. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	ephone <i>phone-tag</i> 例： Router(config)# ephone 25	ephone コンフィギュレーション モードを開始します。 • <i>phone-tag</i> — 構成タスク中にこの ephone を識別する一意のシーケンス番号です。実際の Cisco Unified CME システムの ephone の最大数は、バージョンとプラットフォームに固有です。値の範囲については、CLI のヘルプを参照してください。
ステップ 4	headset auto-answer line <i>line-number</i> 例： Router(config-ephone)# headset auto-answer line 1	ヘッドセット ボタンが押されたときに自動的に応答される ephone 上の回線を指定します。 • <i>line-number</i> — 自動応答すべき電話回線の番号。 (注) さらに回線を追加するには、このコマンドを繰り返します。
ステップ 5	end 例：	特権 EXEC モードに戻ります。

コマンドまたはアクション	目的
Router(config-ephone)# end	

ヘッドセット自動応答の確認

ステップ1 `show running-config` コマンドを使用して構成を確認します。ヘッドセット自動応答が出力の `ephone` 部分に一覧されます。

```
Router# show running-config

ephone 1
  headset auto-answer line 1
  headset auto-answer line 2
  headset auto-answer line 3
  headset auto-answer line 4
  username "Front Desk"
  mac-address 011F.92B0.BE03
  speed-dial 1 330 label "Billing"
  type 7960 addon 1 7914
  no dnd feature-ring
  keep-conference
  button 1f40 2f41 3f42 4:30
  button 5:405 7m20 8m21 9m22
  button 10m23 11m24 12m25 13m26
  button 14m499 15:1 16m31 17f498
  button 18s500
  night-service bell
```

ステップ2 `show telephony-service ephone` コマンドを使用して、実行中の構成の `ephone` 構成部のみを表示します。

ヘッドセット自動応答の構成例

ヘッドセット自動応答の有効化例

次は、回線1（ボタン1）および回線4（ボタン4）の Ephone3 でヘッドセット自動応答を有効化する例です。

```
ephone 3
  button 1:2 2:4 3:6 4o21,22,23,24,25
  headset auto-answer line 1
  headset auto-answer line 4
```

次の例では、オーバーレイされた `ephone-dn` を持つ回線2（ボタン2）およびオーバーレイロールオーバー回線である回線3（ボタン3）の `ephone 17` でヘッドセット自動応答が有効になります。

```
ephone 17
  button 1:2 2o21,22,23,24,25 3x2
```

```

headset auto-answer line 2
headset auto-answer line 3

```

次の例では、回線 2（ボタン 3）および回線 3（ボタン 5）の ephone 25 でヘッドセット自動応答が有効になります。この場合、ボタン 2 および 4 が使用されないため、ボタン番号は回線番号と一致しません。

```

ephone 25
  button 1:2 3:4 5:6
  headset auto-answer line 2
  headset auto-answer line 3

```

ヘッドセット自動応答の機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: ヘッドセット自動応答の機能情報

機能名	Cisco Unified Cisco Mobility Express のバージョン	機能情報
ヘッドセット自動応答	4.0	ヘッドセット自動応答が導入されました。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。